

PTAだより

北斗の星の指すところ

令和8年3月1日発行

編集発行

北海道稚内高等学校PTA

住所 北海道稚内市栄1-4-1

電話 0162(33)4154



新しいスタート、これからの人生の進路に祝福を ～卒業生・修了生の皆様へ～

稚内高等学校父母と先生会の会
会長 白川哲也



何のため誰のために働くか。

校長 小林洋介

本校を卒業される卒業生の皆様、そして看護科専攻科を修了される皆様、並びに保護者の皆様、この度は誠におめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、お子様の門出を迎えることができ、お喜びもひとしおのことと存じます。また、進路実現に向けてご尽力をいただきました校長先生をはじめ、諸先生方、関係者の皆様におかれましては、日ごろより大変お世話になり本当にありがとうございます。皆さんが本校での生活を振り返ったとき、多くの思い出とともに、様々な苦悩、挑戦があったのではないかと思います。授業以外でもお休みの日の講習、模試などの諸活動をはじめとして、「進学か就職か」の選択、受験勉強や就職活動の取り組みといった大事な場面も多々あったことでしょうか。お休みの日にご指導頂いた先生方、ありがとうございました。3年間という時間は決して長くはありませんし、看護科の皆さんにとっては、専攻科を含めた5年間という期間、看護師になるための努力の日々が続いたことと思います。短い期間の中で多くのことを考えて取り組む必要があり、心が折れそうになったり辛いことも多々あったかと思えます。そうした中で経験したことが自身の成長へとつながっていったことでしょう。

高校生活は今後の人生における準備期間であり、スタートを切るための大切な時間です。今後に向けて、皆さんの中では大きな期待と不安もあることでしょうが、一人の人間としての成長を祈念しております。社会に出ることで、楽しいこと、嬉しいこともあれば、辛いことも多く経験することでしょう。そんな時には決して心が折れることなく、時には振り返りながら今までの高校生活の中で培った自信をもって、一歩ずつ前進してください。保護者の皆様におかれましては、今後のお子様の人生がより良きものとなっていくよう、引き続きサポートをお願いいたします。

子どもたちは本日をもって本校を卒業・修了し、新たな道へと進んでまいります。とはいえ、これまでの生活から切り離される訳ではなく、先生方と子どもたち、子どもたちどうしの関係は今後も続いていきますし、私たち保護者にも同様に、このご縁が今後も続いてほしいと願っております。

結びとなりますが、今後の卒業生、修了生の皆さんの益々のご活躍、保護者の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。本日はご卒業、ご修了、まことにおめでとうございます。

卒業生・修了生の皆さん、本日は卒業・修了おめでとうございます。また、保護者等の皆様には、本校教育活動に対し、これまでご理解ご協力賜りますこと、厚くお礼申し上げます。

「仕事以外に生きる価値って何があるの？生きていく価値は社会貢献やいかに人の役に立つかだと思う。」あるテレビ番組の定職に就かない（就きたくない）若者とのディスカッションの中で、マツコ・デラックスさんが発した言葉です。

「なぜ働くのか」と問われた時、あれこれ理由を思い浮かべると思います。一番は経済的自立をして、好きなモノ（コト）に周りから文句言われず、時間とお金を費やしたい、ではないでしょうか。世界でも同様に、2023年米国心理学会が発表した「働く理由に関する大規模調査」において、1位経済的報酬（生活のため）89%がやはり一番でした。ただし2位自己実現（自己の成長や達成感）71%、3位社会的つながり（人との関係）63%、時間構造（リズムある生活）58%、5位社会貢献（人の役に立つ実感）54%と、お金のため「だけ」に働いているのではなく、注目すべきはむしろ、非金銭的な理由が過半数を超えているという点です。さらに、2021年エール大学の研究で「誰かの役に立っている」「自分の存在が社会に貢献している」と、自分の仕事に意味を感じている人の寿命が、そうでない人と比べ7.5年長いというデータが報告されています。働くことは少なからずストレスであると同時に、生きるためのエネルギー源とも言えます。マツコさんの言葉が、より重く感じられます。

今春、看護師として、そして就職・公務員にて進路決定した方は各々の職場で働くことになります。また進学する方も、遅かれ早かれいずれ働くことになるでしょう。働くことを自分の幸せにつなげることは、自己保全という意味合いで最優先して欲しいですが、その行為が一方で、他者の幸せ（社会貢献）につながっていることを意識して享受すると、Well-being社会の共創に通じていくと私は信じています。



看護症例発表会



専攻科2年生の皆様 修了おめでとうございます ～専攻科2年生担任よりお祝いの言葉～

専攻科2学年担任 西森由佳

専攻科2年生の皆さん、修了おめでとうございます。

実習や進路活動、人間関係など様々なことに真剣に向き合い、日々成長していく皆さんの姿を見て、私自身もいつも奮い立たされる思いでいました。教員として、看護を志す学生の皆さんをサポートするという大変貴重な経験をさせていただき、心から感謝しています。

看護の道は決して楽なものではありません。しかし、人の命と人生に寄り添うことのできる、尊い仕事です。時には迷い、立ち止まることもあるでしょう。そんな時には、稚内高校で過ごした五年間や、共に学んだ仲間の存在を思い出してください。皆さんがこれまで積み重ねてきた努力や経験は、必ず大きな力となっています。

「初心忘るべからず」。きっと皆さんの「原点」は、ここにあるはずです。理想の看護師を目指し、それぞれの進路先で自分らしく活躍されることを、心から願っています。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、長年にわたり本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。



3年次の皆様 卒業おめでとうございます **～3年次担任よりお祝いの言葉～**

3年次主任・3年A組担任 西川 達也

北の街にも春が来ました。3年次生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業後、大学や社会で「出身はどこですか」と聞かれることがよくあります。皆さんは高校で探究を通して自分の出身である稚内の魅力を学んできました。その経験を胸に、稚内高校や稚内のことを自信を持って語れる人であってほしいと思います。3年間、皆さんは学びや部活動、学校行事、そして進路活動に全力で取り組み、仲間とともに多くの挑戦を乗り越えてきました。特に、素直で真っすぐな姿勢は周囲から好感を持たれると思います。卒業は新たな旅立ちですが、これまでの経験と努力を活かして、いつまでも変わらぬ素直な人間であってください。困難に出会ったときも、笑顔や思いやりを忘れず、自分らしく歩いていけることを信じています。皆さんのこれからの成長と活躍を、教職員一同、心から応援しています。保護者の皆様も、温かく見守っていただければ幸いです。

3年B組担任 和田 翔太

「学びの窓に誇りあり」という言葉があります。卒業生が自らを第何期生と語り合う文化も、その言葉を体現しているのでしょうか。では、みなさんは稚内高校を卒業することを、胸を張って「誇り」と言えるのでしょうか。

正直に言えば、私は自分の出身高校そのものを「誇り」と意識したことはありません。しかし、共に過ごした同級生や先生方、そして二度と戻ることのできないあの時間には、今、心から感謝しています。つらかったこと、嫌だったことも数えきれないほどありました。思い出したくないほど恥をかいたこともあります。それでも、それら1つ1つの経験が、確かに今の自分を形づくっているのだと思うのです。この3年間がすぐにではなくとも、いつか振り返ったときに、みなさん自身の「誇り」になることを願っています。これから歩むそれぞれの人生が、実り多いものでありますように。卒業おめでとうございます。

3年C組担任 伊藤祐亮

これまでの3年間で共に過ごせたことを誇りに思います。この日を迎えるまで、貴方たちの努力や成長をこの目で見させてもらいました。未来は、今日までの積み重ねによって築かれます。貴方たちのこれまでの努力は、確かに未来の扉を開く鍵となります。これからも、挑戦を恐れず、困難に直面したときには自分自身を信じ続けてください。

ここからの人生は大きな変化を迎えます。貴方たちの世界が変わり、見られ方が変わります。ここからの人生は「言葉のアンテナ」を高く張って過ごして下さい。「言葉のアンテナ」とは、自分にとって大切なことや、周囲からのさまざまなメッセージを敏感にキャッチし、感じ取る感性のことです。人生の中で、たくさんの人や出来事からの言葉は、時には励ましとなり、時には気づきの種となります。これからも、自分の心に響く言葉を見逃さず、しっかりとキャッチして、未来へのヒントにしてください。そして、貴方の気持ちや言葉を、相手のアンテナにちゃんと正しく受信されるように、努力を欠くことなく発信して下さい。

保護者の皆さまには、お子さまの成長を見守り、支えてくださったことに深く感謝申し上げます。皆さまの温かいご支援と愛情が、この晴れやかな日を迎える大きな支えとなりました。

最後に、皆さん一人ひとりの未来が、光り輝く素晴らしいものでありますように、どんな困難にも負けず、自分の信念を持ち続けてください。あなたたちの未来に、幸多きことを心から願っています。卒業、おめでとうございます。

3年D組担任 山川貴大

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、これまで温かいご支援とご協力をいただきありがとうございました。

生徒会機関誌で話していないお話をここで1つ。これまでの学校生活は言葉を換えると「レールの敷かれた上を走った人生」である。学校のカリキュラム通り勉強する、顧問が考えた練習メニューに励むなど敷かれたレールをただ通っただけ。これからの社会は「レールのない世界」となる。誰も道を教えてくれないし、正解も複数存在する時がある。転んでも自己責任、成功しても自己満足。でも、それが人生の面白いところ。失敗も笑い話になるし、挑戦した分だけ未来は広がる。大事なものは、情報を集め、考え、行動すること。迷ったらやってみる、失敗したら笑う。そうやって経験値を増やしていけば、誰にも真似できない自分だけの人生が作れる。こうしてできた物語を聞ける日を私は楽しみにしてる。お互い頑張りよう。

3年E組担任 山口真結

ご卒業おめでとうございます。この3年間、専門的な学びや病院実習など、決して楽ではない道を歩んできました。特に病院実習では、命と向き合う現場で多くを学びましたね。最後まで逃げず、向き合い成長してきたこと担任として誇らしく思います。

皆さんは卒業後、専攻科へ進学し、看護師を目指してさらに学びを深めます。これからは、これまでに以上に厳しさを伴うものになるかもしれません。しかし、高校3年間で培った努力する力、仲間と支え合う姿勢、そして人を思いやる心を忘れないでください。きっと皆さんの支えになるはずです。専攻科での学びを通して成長し、将来、信頼される看護師として活躍することを願っています。

また、お子様の日々の学習・実習への励ましなどに加え、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました保護者等の皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和7年度 第3年次普通科進路決定状況(のべ数)

◎国公立四大・短大		◎民間就職	
小樽商科大学	2名	株式会社漁連道北食品	1名
北海道教育大学札幌校	1名	自己開拓	1名
北見工業大学	1名	縁故	1名
弘前大学	1名	◎専門学校	
◎私立四大・短大		札幌ミュージックエンターテイメント専門学校	2名
札幌大学	2名	札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校	1名
北海学園大学	2名	札幌ブライダル&ホテル観光専門学校	2名
北翔大学	5名	札幌デジタル&動物・医療・観光専門学校	1名
北海道科学大学	2名	札幌ビジュアルアーツ専門学校	1名
北海道情報大学	2名	札幌子ども専門学校	2名
北海道文教大学	2名	札幌科学技術専門学校	1名
北海道医療大学	2名	札幌看護医療専門学校	1名
北海道千歳リハビリテーション大学	1名	専門学校札幌デザイナー学院	1名
藤女子大学	1名	専門学校北海道福祉・保育大学校	1名
日本医療大学	2名	専門学校北海道リハビリテーション大学校	3名
育英館大学	1名	デザイン&テクノロジー専門学校	1名
國學院大学	6名	東京ブライダル&ウェディング専門学校	1名
大阪芸術大学	1名	北海道文化服装専門学校	1名
東北学院大学	1名	北海道理容美容専門学校	2名
駒澤大学	1名	吉田学園医療歯科専門学校	1名
近畿大学	1名		
法政大学	1名		

※この進路実績は令和8年2月19日段階のものです

令和7年度 第3年次商業科進路決定状況(のべ数)

◎私立四大・短大		◎公務員	
札幌大学	1名	稚内市役所	1名
北翔大学	1名	北海道警察行政職員	1名
育英館大学	1名	◎専門学校	
◎民間就職		大原簿記情報専門学校	2名
稚内信用金庫	2名	大原法律公務員専門学校	1名
瀬戸漁業株式会社	1名	経専音楽放送芸術専門学校	1名
北海道信用漁業協同組合連合会	1名	専門学校札幌ビジュアルアーツ専門学校	1名
中田組	1名	札幌ほいく専門学校	1名
石塚建設株式会社	1名	札幌デザイン&テクノロジー専門学校	1名
株式会社ぎょれん道北食品	1名	札幌ブライダル&ホテル観光専門学校	1名
株式会社ハスコムモバイル	1名	北海道札幌観光・ブライダル製菓専門学校	1名
株式会社ユーラステクニカルサービス	2名	北海道美容専門学校	1名
ニッポンレンタカー北海道株式会社	1名	北海道どうぶつ・医療専門学校	1名
ハートランドフェリー株式会社	1名	吉田学園医療歯科専門学校	1名

※この進路実績は令和8年2月19日段階のものです

令和7年度 専攻科2年生進路決定状況(のべ数)

◎道内病院	
市立稚内病院	9名
利尻島国保健康保険病院組合利尻島国立中央病院	1名
北海道孝仁会記念病院	1名
JA北海道厚生連遠軽厚生病院	1名
医療法人溪仁会手稲溪仁会病院	1名
独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター	1名
医療法人愛全会愛全病院	1名
カレス記念病院	1名
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院	1名
◎道外病院	
医療法人社団富家会富家病院	2名
千葉愛友記念病院	1名
◎進学	
スズキ病院付属助産学校	1名

※この進路実績は令和8年2月19日段階のものです

各委員会の近況報告

総務委員会

総務委員会において、今年度も主たる業務としては、例年通り10月と3月の2度発行する「PTAだより」の作成です。内容としましては、各行事についての記事や新入生・卒業生へ向けた担任からのメッセージ、人気のコーナー「あの先生」など内容盛りだくさんとなっております。また、今年度より近年のデジタル化の影響を受け、データ配信となり、PTAだよりのテイストも一新しております。これから様々な記事を掲載したいと考えております。ご意見がございましたら、遠慮なくお申し付けください。どうぞよろしくお願いいたします。

研修委員会

今年度は、8月に「カーリング体験会」を実施しました。当日はカーリング部員に実技指導をしていただき、カーリングの楽しさを知ることができました。今回の研修にご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

研修委員会では、バスツアー、カーリング体験会を企画してきました。参加者の方からは次回も参加したいというようなお声をいただいております。引き続き皆さんが参加出来る研修として、生徒、保護者等の方や地域の方と繋がることのできるような研修を企画できればと思っています。

健全育成委員会

今年度は、7月に「学校祭パレードにおける給水活動」を実施しました。本活動は3年目を迎え、年々暑さが厳しくなる夏の学校祭において、熱中症予防の観点からも生徒に好評な取り組みとなっております。今年度も、健全育成委員の皆様や活動場所をご提供いただいた地域の皆様のご支援により、安全に実施することができました。次年度も、今年度の反省を活かしながら、生徒が安心して行事に参加できるよう、保護者・地域の皆様と連携し、活動を継続していきたいと考えています。

1年間を振り返って









専攻科2年生看護症例研究発表



12月11日に、専攻科2年生による看護症例発表会が行われました。この発表会は、臨地実習で関わった患者さんの中から1人を選び、その方の状態や思いなどを把握し、どのような看護を行ったのかを発表する、5年間の学習の集大成の場です。

学生は今まで学んだ病気や体の仕組み、看護に関する考え方などをもとに、「患者さんに、なぜこの看護援助が必要だったのか」を自分の言葉で丁寧に説明していました。人前で自分の看護を語る姿からは、入学当初には見られなかった自信や責任感、看護師を目指す学生としての成長が強く感じられました。

当日は実習でお世話になった指導者様や看護部長様にもご参加いただき、温かい助言や講評を通して、学生にとって大きな学びと自信につながる貴重な機会となりました。

3年次保護者より卒業生に贈る言葉

PTA総務委員長 船山さん

皆さん、ご卒業おめでとうございます。稚高での学校生活はどうでしたか？皆さんはコロナ渦の影響で中学時代は自分の意思とは関係なく、様々な制限があった世代でした。やっと制限から解放され、迎えた高校生活。勉強や部活などやっと青春を謳歌できた3年間だったのではないのでしょうか？大人になっても学生時代の友人はかけがえのないものです。困ったときは一人で抱え込まず、時には助け合うことで新しい一歩を踏み出して下さい。

卒業後は稚内に残る人、旅立つ人、新しい環境で各々の道に進みます。目標に向かい、たとえ失敗する事があっても自分を信じてチャレンジする気持ちと感謝を忘れず一歩ずつ前に進んで欲しく思います。稚高生のこれからの活躍を期待し、心からエールを送ります。

PTA総務委員 高垣さん

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

3年前、不安と期待を胸に、稚高の入学式を迎えた日のことを覚えていますか。稚高の坂を上り下りしながら通学した日々。友達と語り合いながら食べたお弁当。部活動に励み、仲間と笑い合った日々。その一つ一つが、今、かけがえのない思い出として、皆さんの心に刻まれていることでしょう。

私たち保護者は、皆さんが悩み、立ち止まりながらも、懸命に前へ進んできた姿を、いちばん近くで見守ってきました。その一步一步の歩みは、これから先の人生を支える大きな力になるはずです。

どうか自分を信じ、それぞれの未来へ力強く歩んでください。皆さんの新たな旅立ちを、心から応援しています。

PTA総務委員 佐野さん

稚内高校3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

過ぎてみれば3年間、あっという間の日々でしたね。入学式が昨日のこのように思い出されます。

高校生活での初めての行事、部活、勉強に期待いっぱいだった1年生の時。修学旅行や進路選択、部活や日常生活…、仲間との時間をたくさん過ごす中で、時にぶつかり、時に励まし合い、勉強以外の事もたくさん学んだ2年生の時。そして、進路実現に向けてひたすらがんばった3年生の今。

稚内高校での出会いと経験を大切に、これからの人生を切り拓いてくださいね。

最後に入学から本日まで、どんな場面でも親身にご指導いただいた稚内高校の先生方、心より感謝です。本当にありがとうございました。

PTA総務委員 畠山さん

ご卒業おめでとうございます。皆さんが稚内高校に入学したのが、つい昨日の事のように思い出されます。

高校生活は、あっという間の3年間だったと思いますが、良い時間を過ごせたでしょうか。部活動や学校行事で仲間と声を掛け合い、真剣に取り組んだ時間。何気ない毎日の中で、少しずつ表情が大人になっていったこと。一日一日が成長だったと思います。これから先、不安になったり立ち止まったりすることもあるかもしれませんが、でも、高校生活で積み重ねた経験や人とのつながりは、皆さんの力になります。焦らず、自分のペースで進んでください。皆さんのこれからのを、心から応援しています。

PTA総務委員 廣末さん

御卒業おめでとうございます。

卒業を迎えた今、どんな事が思い出されるでしょうか。友達との何気ない会話や部活動に励んだ日々、修学旅行での失敗談等々、様々な事が思い出されるでしょうか。私も数十年前に稚内高校を卒業しました。当時の思い出は、今でも思い出せるほど濃いもので、もう一度味わってみたいと思える大切なものになっています。皆さんにとっても、友達や先生と過ごした時間が、これからも心の支えになるかもしれません。楽しい事ばかりではなかったかもしれませんが、その一つひとつを大切な思い出として胸にしまっておいて行ってください。これからも皆さんのご活躍を心から願っています。そして、3年間、親身に子ども達と向き合いご指導下さった諸先生方に心から感謝しております。

各年次から

1年次主任松岡輝真

山を大きくするためには、何が必要でしょうか。砂場で小さな山を思い浮かべてください。中央だけに砂を積むとすぐに崩れます。高く安定した山には、頂だけでなくそれを支える広い裾野が必要です。

皆さんの成長も同じで、学校での学びや日々の活動の背景には、ご家庭での温かな見守りや励ましがあります。その支えが皆さんの心の裾野となり、確かな成長の土台を形づくってきました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

高校2年生となる皆さんは期待と不安を抱き進路や夢に向かって歩みます。学年団一丸となり、互いに尊重し切磋琢磨し支え合いながら、自分を高め、いつか振り返って「楽しかった」と思える日々をつくれるよう、これからも丁寧に見守り応援していきます。



2年次主任 増井達信

2年次のスローガンは、昨年度に引き続き「凡事徹底」です。当たり前のことを丁寧にやり抜く力を身につけてほしいと考えています。

今年度は様々な行事がありました。普通科・商業科では、総合的な探究の時間の一環としてインタビューデイとインターンシップ、衛生看護科では施設実習を実施し、学校外で学びを深めました。さらに、高校生活の一大イベントである見学旅行も無事に終えました。どの活動でも、活発に意見交換をしながら、ルールや時間を守って行動できました。

さて、来年度はあらゆる行事が「高校生活最後」になります。また、普通科・商業科は自身の進路実現、衛生看護科は病院実習や専攻科進学後の国家試験に向けて、より一層学業と向き合う時期を迎えます。苦しい場面も多々あるでしょう。それでも、全員が笑顔で卒業式を迎えられるよう、教員一同で力を尽くしてまいります。今後も変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。



専攻科1年生担任 窪田統孝

高校3年間の衛生看護科を卒業し、専攻科に入学して1年が経とうとしています。高校に比べ看護教科も増え、より専門性が高くなりました。考査科目も増え、テストを乗り越えるために毎日勉強に励んできたことと思います。

患者様やその家族の支えとなり信頼される看護師になるためには、あと1年しかありません。乗り越えなければならぬ壁やハードル、社会から求められる水準も、年齢とともに上がります。今後とも向上心を忘れず、真摯に取り組んでほしいと思います。

今後は、実習や進路関係、国家試験など将来のために必要な活動がたくさん待っています。もし困難にぶつかって困った時には、いつでも遠慮せずに相談してください。私たち教員は全力でサポートしていきます。



大好評！

あの先生

他已紹介
バトン

加藤先生の紹介

By 小川先生



年次／1年E組担任
教科／美術
部活動／美術部

私が紹介させていただくのは、1年E組の担任、芸術科の加藤大幹先生です。加藤先生は非常にスマートなルックスと違わず、どんなこともスマートにこなす印象のある先生です。普段から周りを気遣いサポートするのはもちろんのこと、学校祭では生徒とのダンスで場を沸かせ、日常会話では頭の回転の速さと巧みな話術で笑いを誘ったかと思えば、プライベートではDIYを趣味にして家具を作っているそうです。なにか苦手なことはあるのでしょうか…？そんな文武両道を地でゆく加藤先生は、小中学校で野球に打ち込んでいたそうですが、高校では無事(?)美術部に入部し、恩師との出会いや努力により勝ち取った賞で生まれた自信が教員への道を後押ししたようです。最後に、この紹介を書くに当たってインタビューをしたところ、座右の銘は「表面張力」だそうです。大学の講義である教授が座右の銘として紹介していたのを気に入っていると力説していたのですが、独特の感性で私には理解が難しかったです。気になる方は是非加藤先生に話しかけてみてください。

小川先生の紹介

By 窪田先生



年次／2年A組副担任
教科／数学
部活動／男子サッカー部

私が紹介するのは、数学科の小川春輝（おがわしゅんき）先生です。非常に物知りで、たくさんを知っている先生です。数学をこよなく愛する同土として、非常に多彩な才能をもつ小川先生を紹介させていただきます。

趣味はスキー・テニス・将棋・料理。料理は、特にお菓子作りが得意だそうです。何を作るのでしょうか？特技は将棋で、何とアマチュア5段を持っているそう！私は3分で王が詰む気がするので、勝負は挑みません！みなさんは将棋盤と駒を持って、小川先生に是非挑んでほしいなと思います。もし勝てたら教えて下さい。

好きな食べ物は海産物なら何でもだそうです。稚内はぴったりの場所ですね！また、日本酒を嗜むそうです。何と大人なことでしよう！好きな言葉は「明日から頑張ります」「今日はやめて」だそうです。常に前を向いている感じがすごく素敵ですね！他には「微分積分」とのことです。うーん、やはり数学科ですね。私も大好きな言葉です！

今回は小川先生の紹介でした。みなさんも是非小川先生と話してみてください！

次回の「あの先生」もお楽しみに！！

編集後記

卒業並びに修了される生徒・保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。卒業は、子どもたちにとって大きな節目であり、新たな旅立ちの瞬間でもあります。私たちPTA総務委員会として、この特別な瞬間に携わることができたことを、大変光栄に感じております。第155号では、卒業生・修了生の皆さんの思い出や、これまでの学校生活を振り返る記事を掲載しております。友人や先生方との絆、さまざまな行事や諸活動を通じて得た経験は、これからの人生においても大きな財産となることでしょう。

保護者の皆さまにとっても、子どもたちの成長を見守り、支えてこられた日々は、感慨深いものがあることと思います。卒業・修了を迎えるにあたり、これまでの努力とその成果を称えるとともに、今後の新たな挑戦に心からのエールを送りたいと思います。本号をもちまして、今年度の総務委員会の活動は終了となりますが、今後も学校と家庭、地域との架け橋として、子どもたちの未来を支える活動を続けてまいります。卒業生・修了生の皆さん、心よりおめでとうございます。新しい道を進まれる皆さんの、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。
(令和7年度PTA総務委員会)